

平成27年度 第5次上尾市総合計画 施策マネジメントシート

1. 基本情報 ●子ども支援課・子ども・若者相談センター・子育て支援センター・保育課・発達支援相談センター・青少年課・健康増進課

施策番号(大-中-小)	611
まちづくりの基本方向(大項目)	明日を担う人づくり
政策(中項目)	児童福祉の充実
施策(小項目)	出産・子育て支援
基本方針	安心して子どもを産み育てるための支援として、家庭・学校・地域と連携した相談体制、ワーク・ライフ・バランスの普及啓発、子育て情報の収集と提供、さらには育児教室などの充実を図ります。また、保育サービスの充実や子どもの人権擁護への取り組み、子育て家庭の負担軽減支援などととも、ひとり親家庭の生活負担軽減や雇用安定等のための支援を進めます。

2. 施策の状況(平成27年3月31日現在の状況を記入)

施策の現況と課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 少子化や核家族化が進行する中で、子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう、子育て情報の提供や相談体制を充実するため、子育て支援総合窓口を設置し、平成22年3月から県の地域子育て応援タウンの認定を受けています。 ● 出産・子育てに関する必要な情報の提供や、安心して産み、育てるための支援を実施しています。 ● 就労形態の多様化や働く女性の増大によって、子育て世帯が希望する保育サービスの内容も多様化しています。さまざまな保育ニーズに対応するため、延長保育や一時保育、休日保育、病児・病後児保育など多様な保育サービスの充実が必要です。 ● 全ての子どもが健やかに成長するために、児童虐待防止に向けて、発生の予防、早期発見・早期対応を始め、被虐待児童及び家庭へのきめ細やかな支援が必要です。平成23年からは養育支援が特に必要と判断した家庭に対して、保健師等が訪問し、養育に関する指導・助言を行っています。 ● こども医療費助成事業の対象年齢を中学校卒業までとしており、今後も子育て世帯の経済的負担を軽減する継続した支援が必要です。また、子育てと生計の維持という二重の経済的負担を抱えるひとり親家庭への総合的な支援が必要です。特に、収入基盤の弱い母子家庭の母に対して、就労に関する相談支援や支援策の情報提供ができる体制づくりが喫緊の課題です。 ● 経済的に不安定な家庭や、自立に向けた活動を行うひとり親家庭などに対して県の資金貸付制度があります。今後は子どもの進路決定時期に増加する相談需要への対応が課題です。
法制度の変更など	

3. 目標指標の達成状況 ★冊子掲載指標

No.	課名	指標名	指標の説明(計算式)	対象数	実績						目標値	達成率	主な取組内容やコメントなど
					年度	H22	H23	H24	H25	H26			
1★	保育課	病児・病後児保育所数	(単年)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	75%	地域の偏在を解消するため市域東側に病児保育の整備を検討する。
					単位	箇所	3	3	3	3	3		
2★	保育課	延長保育所数	(累計)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	100%	全ての認可保育所に19時までの延長保育を実施させる。
					単位	箇所	27	28	30	31	32		
3	青少年課	延長学童保育所数	実施箇所数(累計)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	100%	H26年度 29学童・34クラス、H27年度 30学童・35クラス
					単位	箇所	0	28	29	29	29		
4	子ども支援課	高等職業訓練促進給付金を受給して資格を習得し就労した人の人数	(単年)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	70%	H24まで「受給人数」を報告していたため、H25より指標名どおり「就労人数」に過去データも含め変更した。
					単位	人	6	6	9	6	7		
5	子ども・若者相談センター	要保護児童対策地域協議会実務者会議数	(単年)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	88%	個別支援会議を適宜開催している
					単位	回数	5	5	7	7	7		
6	発達支援相談センター	乳幼児育児相談件数	(単年)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	101%	
					単位	件	457	495	526	543	554		
7	健康増進課	新生児訪問件数	実施件数/年(単年)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	102%	訪問希望件数は年々増加している。里帰り中の方も利用できる。
					単位	件数	342	445	449	536	560		
8					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
9					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
10					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								

4. 今後の方針(平成27年度実施予定を踏まえた28年度の方向性)

<p>今後の取組の方向性</p> <p>(文末に*のあるものは、市長マニフェスト該当項目)</p>	<p>(子ども支援課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯の経済的負担を支援している、こども医療費助成事業を継続します。 ・母子・父子自立支援員を配置し、就労支援体制を強化します。 ・県の資金貸付制度の個別周知を継続します。 ・高等職業訓練促進給付金受給者の就労率を高めます。 <p>(子ども・若者相談センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要保護児童対策地域協議会の個別支援会議は随時開催して、適切な連携を図りながら児童虐待防止への円滑、迅速な対応、支援を行っていきます。 <p>(子育て支援センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に根差した支援センターとしてSNS等を活用し積極的に情報発信を行うとともに、子育てに関する相談部署・機関との連携を図り、効果的な相談事業体制を構築します。 <p>(保育課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会経済状況の変化に伴い、女性の社会進出などの影響で、保育ニーズは益々高まってきています。このような状況を踏まえニーズ調査なども実施しながら、真に必要な高い保育サービスを提供できるよう進めていきます。 <p>(発達支援相談センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、発達に関する相談体制の充実に向けて進めていきます。 <p>(青少年課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、全学童保育所で延長保育を実施します。 <p>(健康増進課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各事業(健診・相談・教育・訪問等)の充実について検討します。 ・乳幼児健診の受診率の向上、健診未実施児の全数把握を目指します。 ・周産期からの養育リスクに対して、積極的に対応していきます。 ・地域の母子保健を支える地区組織等について検討していきます。 	★進ちよく状況	B 概ね順調
---	---	---------	--------

5. 市民満足度アンケート(平成25年度実施)

期待度		満足度		かい離値	
指数	順位	指数	順位	指数	順位
2.31	10	1.21	25	1.1	38

※かい離値は、期待度ー満足度を表します。

※参考

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
この施策に係る当初予算の事業費(千円)	5,930,978	5,855,525	6,036,358	5,764,526
この施策に係る当初予算の人員費(千円)	2,435,677	2,409,288	2,386,410	367,222
合計(千円)	8,366,655	8,264,813	8,422,768	6,131,748

★進ちよく状況

- A 順調(すべての指標が改善または目標値達成)
- B 概ね順調(改善または目標値達成した指標が半数以上)
- C やや遅れ(改善または目標値達成した指標が半数未満)

平成27年度 第5次上尾市総合計画 施策マネジメントシート

1. 基本情報 ☛子ども支援課・子育て支援センター・保育課・青少年課

施策番号(大-中-小)	612
まちづくりの基本方向(大項目)	明日を担う人づくり
政策(中項目)	児童福祉の充実
施策(小項目)	子育て環境
基本方針	出産・子育てをしやすい環境を整えるため、保育所の整備による待機児童の解消や地域での子育て支援拠点施設のネットワーク整備などを進めます。学童保育についても、計画的な施設の充実や改善を進めます。

2. 施策の状況(平成27年3月31日現在の状況を記入)

施策の現況と課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会情勢の変化、就労環境の多様化により、保育を必要とする家庭が増えており、保育所の待機児童問題は深刻です。認可保育所等の計画的整備を進めるとともに、家庭保育室の支援強化、保育の相談窓口の充実が必要です。 ● 都市化や少子化、核家族の進展により、地域でのつながりが希薄化しています。地域における子育て中の親と子を支援する地域子育て支援拠点の充実・強化が必要です。 ● 学童保育の利用需要に応じた施設整備、学童保育環境の維持改善、利便性・安全性への配慮や管理運営の改善を進める必要があります。
法制度の変更など	

3. 目標指標の達成状況 ★冊子掲載指標

No.	課名	指標名	指標の説明(計算式)	対象数	実績						目標値	達成率	主な取組内容やコメントなど
					年度	H22	H23	H24	H25	H26			
1★	保育課	認可保育所数	(累計)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	100%	
					単位	箇所	27	28	30	31	32		
2★	青少年課	学童保育所の待機児童数	待機児童数		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	100%	※待機児童0を維持する
					単位	人	0	0	0	0	0		
3	保育課	保育所待機児発生率	待機児発生率(待機児童数/入所児童数×100)。(数値が小さくなるのが望ましい指標)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	145%	認可保育所等の増設
					単位	%	2.1	1.9	1.8	1.7	1.1		
4					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
5					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
6					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
7					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
8					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
9					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
10					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								

4. 今後の方針(平成27年度実施予定を踏まえた28年度の方向性)

<p>今後の取組の方向性</p> <p>(文末に*のあるものは、市長マニフェスト該当項目)</p>	<p>(子ども支援課・子育て支援センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援拠点等のネットワークの整備及び強化を進め、地域子育て支援拠点等連絡会を通して、研修や情報交換を充実します。また他の子育て支援を行う部署・機関との連携を図ります。 (保育課) ・引き続き、認可保育所等の整備により、上尾市子ども・子育て支援事業計画に基づき必要な保育の受け入れ枠の確保を図ります。 (青少年課) ・引き続き、学童保育所の待機児童数0人を維持します。 	<p>★進ちよく状況</p>	<p>A 順調</p>
---	--	----------------	-------------

5. 市民満足度アンケート(平成25年度実施)

期待度		満足度		かい離値	
指数	順位	指数	順位	指数	順位
2.34	5	1.05	39	1.29	47

※かい離値は、期待度ー満足度を表します。

※参考

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
この施策に係る当初予算の事業費(千円)	2,265,778	2,333,034	2,858,602	3,636,002
この施策に係る当初予算の人件費(千円)	57,205	66,803	65,658	2,050,954
合計(千円)	2,322,983	2,399,837	2,924,260	5,686,956

★進ちよく状況

- A 順調(すべての指標が改善または目標値達成)
- B 概ね順調(改善または目標値達成した指標が半数以上)
- C やや遅れ(改善または目標値達成した指標が半数未満)

平成27年度 第5次上尾市総合計画 施策マネジメントシート

1. 基本情報

●教育総務課・学務課・指導課・教育センター・学校保健課

施策番号(大-中-小)	621
まちづくりの基本方向(大項目)	明日を担う人づくり
政策(中項目)	学校教育の充実と青少年の育成
施策(小項目)	教育環境
基本方針	各学校でのきめ細やかな教育により特色ある学校づくりができる教育環境づくりを進めます。校舎の耐震化や児童生徒の防犯対策、見守り活動など、安心・安全な教育環境の形成に取り組むとともに、児童生徒が充実した学校生活を過ごせるための教育相談体制の充実や教職員の指導力・資質の向上、また、就学支援の充実を図ります。

2. 施策の状況(平成27年3月31日現在の状況を記入)

施策の現況と課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 本市では、他市に先駆けて「30人程度学級」を導入し、本年度は、中学校1年生の35人学級を編成し、きめ細やかな個に応じた指導を充実させ、中1ギャップの解消及び基礎学力の向上に努めてきました。さらなる充実に向け、必要な市費教員の効率的な配置が重要となります。また、学校と家庭・地域住民が連携した開かれた特色ある学校づくりを目指し、全ての学校で学校応援団が設立され連携が図られています。今後はさらなる活動の充実が求められています。 ● 通学区域については、学校規模の適正化に向け、計画的に通学区域の変更等を行ってきました。今後も適切な教育環境を実現するため、長期的な児童生徒数の推移や各地域の実情を考慮しながら、総合的な検討を図る必要があります。 ● 学校施設は、児童生徒が1日の大半を過ごす活動の場であり、また災害時には地域住民の避難場所となることから、国・県・市の耐震化計画に基づき、校舎改築事業や耐震補強事業を早急に進めるとともに、老朽化した施設の改修、整備などを計画的に進める必要があります。また、未来を担う子どもたちへの情報教育の充実や校務の効率化を図るうえで、学校ICT環境の整備と活用が求められています。子どもたちや教員が授業等で使用する学習教材や教具、確かな学力と豊かな心をはぐくむ学校図書についても、充実が必要です。 ● 児童生徒の安全を守るため学校安全パトロールカーによる巡回パトロール、登下校のサポート、学校応援団による見守り、市の緊急メール配信及び学校ごとのメール配信システムによる防犯情報網の整備などを行っていますが、メールを持たない方への周知や、地域と連携した防犯対策を充実する必要があります。 ● 発達に偏りのみられる児童生徒やいじめ・不登校などの増加に伴い、就学相談や教育相談件数が著しく増加し、相談体制の充実が求められており、問題解決のためには児童生徒、保護者への相談体制のさらなる充実、教員の研修等を積極的に進める必要があります。 ● 教職員の指導力の強化や専門性を高めるなど資質の向上、少人数指導や、習熟の程度に応じた学習や指導形態、デジタル教科書や大型モニタを活用した指導方法等の多様な工夫改善が求められています。 ● 社会状況の変化により、就学支援を受ける家庭が増加しているため、必要な支援を受けられないことが無いよう、周知の方法など一層の充実が求められています。
法制度の変更など	

※参考	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
この施策に係る当初予算の事業費(千円)	1,957,724	2,384,766	1,939,430	3,007,091
この施策に係る当初予算の人件費(千円)	255,540	262,411	267,641	354,319
合計(千円)	2,213,264	2,647,177	2,207,071	3,361,410

3. 目標指標の達成状況 ★冊子掲載指標

課名	指標名	指標の説明(計算式)	対象数	実績						目標値	達成率	主な取組内容やコメントなど
				年度	H22	H23	H24	H25	H26			
1★ 教育総務課	学校施設の耐震化率	棟数/耐震性能適合棟数(累計)	120棟(H27.4.1)	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	98%	H26年度に上尾中学校でプール・格技場棟が新たに1棟増えたため、対象数が120棟となった。なお、H27年度中に上尾中の改築事業が完了すると耐震化率は100%になる。
				単位	%	59.0	77.5	88.3	97.4	97.5		
2★ 学校保健課	学校安全パトロール回数(1か月1台平均)	年間回数パトロール/11台*11月(単年)	11台	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	81%	各中学校区ごとに青色パトロールカーを配置し、地域の協力によりパトロールを実施。
				単位	回	15.9	15.2	15.6	15.5	16.1		
3★ 教育総務課	学校普通教室の校内LAN整備率	整備校数/学校数(累計)	小中学校数33校	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	6%	2校整備済み
				単位	%	0	3.0	3.0	6.1	6.1		
4 学務課	学区選択区域(JKL地区)における小学校選択率	選択校選択児童数÷対象児童数(累計)	-	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	54%	平成24年10月1日に学区調整区域(KL地区)は、学区変更された。
				単位	%	14.5	18.6	17.9	18.0	15.3		
5 指導課	読書が好きまたはどちらかといえば好きと言う児童の割合	上尾市小・中学校学力調査質問紙調査小学校6年生の数値	小学校数22校	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	100%	
				単位	%	71.6	72.6	74.5	74.9	75.9		
6 教育センター	不登校児童生徒の割合	不登校児童生徒数÷全児童生徒数*100(単年)	-	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	77%	出現率という言葉は不適切であるので、割合に変更した。
				単位	%	0.77	0.7	0.67	0.73	0.71		
7				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
				単位								
8				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
				単位								
9				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
				単位								
10				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
				単位								

4. 今後の方針(平成27年度実施予定を踏まえた28年度の方向性)

今後の取組の方向性 (文末に*のあるものは、市長マニフェスト該当項目)	<p>(教育総務課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通教室内でIoT機器を使用してインターネット接続やデータの共有化ができる環境を構築し、デジタル教科書、デジタル機材を有効に活用した授業を実現するため、校内LANの整備を進めていくよう検討していきます。 ・「上尾市立小・中学校耐震化推進計画」に基づいて完了目標どおり実施します。(上尾中改築：H26～H27 2箇年事業)* <p>(学務課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学区の適正化に向けた検討を行います。 ・中学校1年生の少人数学級(35人)のさらなる充実に向け、質の高い市費教員の効率的な採用を検討します。 <p>(指導課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の指導力・資質の向上を図るため、子供たちや教員が授業等で使用するデジタル教科書や大型モニタの活用推進を図るとともに、確かな学力と豊かな心を育む学校図書館教育の一層の充実を図ります。 ・学習センターとしての機能が十分に発揮できるようにするため、学校図書館にインターネット環境の整備を検討していきます。 ・中学校におけるアッピスマイル学校図書館支援員の配置拡充を検討します。 <p>(教育センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談事業、学校適応指導教室事業で体験的な学習を重視し、不登校児童生徒の学校復帰を目指します。 ・引きこもり状態になっている不登校児童生徒をできるだけ多く教育センターに関わらせることで不登校解消を目指します。 <p>(学校保健課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の協力者が学校安全パトロール講習会を受講し、事業実施者証の交付を受け、各中学校に配置された青色パトロールで校区内の安全のため、巡回活動を行います。 ・児童の安全安心のため、放射線測定による校庭等の空間放射線量を継続して測定し、情報提供を行います。 ・給食食材の放射線測定を計測して実施し、情報提供を行います。 	★進ちよく状況	B 概ね順調
--	--	---------	--------

5. 市民満足度アンケート(平成25年度実施)

期待度		満足度		かい離値	
指数	順位	指数	順位	指数	順位
2.4	2	1.45	8	0.95	19

※かい離値は、期待度ー満足度を表します。

★進ちよく状況
A 順調(すべての指標が改善または目標値達成)
B 概ね順調(改善または目標値達成した指標が半数以上)
C やや遅れ(改善または目標値達成した指標が半数未満)

平成27年度 第5次上尾市総合計画 施策マネジメントシート

1. 基本情報 ●保育課・農政課・学務課・指導課・教育センター・学校保健課・中学校給食共同調理場

施策番号(大-中-小)	622
まちづくりの基本方向(大項目)	明日を担う人づくり
政策(中項目)	学校教育の充実と青少年の育成
施策(小項目)	教育活動
基本方針	次世代を担う児童生徒の個性や能力を高めるため、幼児教育の充実支援のほか、小・中学校においては、知・徳・体のバランスのとれた児童生徒を育成する指導方法の工夫・改善により、様々な教育活動を展開します。また、自らの道を考え行動できるよう進路指導等の充実や、食育の推進にも努めます。さらに、特別支援教育や生きがいある学校生活実現への生徒指導の充実を進めます。

2. 施策の状況(平成27年3月31日現在の状況を記入)

施策の現況と課題	<p>● 幼児期の子どもたちが、適切な教育・保育が受けられるよう、幼児教育の振興を図る必要があります。現在、全ての小学校で幼稚園・保育所と相互の連携が図られていますが、さらなる連携が求められています。</p> <p>● 学校では、著しい社会環境の変化の中で、情報化・国際化・環境問題・人権問題等さまざまな課題に対応した教育を推進する必要があります。その中で、学校の普通教室において、情報化・国際化に対応する教育環境整備が課題です。児童生徒が、多くの情報を収集し、その情報を整理・分析して課題解決をする学習が求められています。このような教育活動をおとして、児童生徒の確かな学力・豊かな心・健やかな体など「生きる力」を育むとともに、社会の変化に主体的に対応できる児童生徒の育成が求められています。</p> <p>● みどりの学校ファームの取組を推進し、児童生徒が農作物の種まきから収穫までを体験する活動などにより食育の充実を図っています。また、近年の食生活をめぐる環境の変化を考慮し、地産地消の推進とともに、食の安全を確保しながら魅力ある学校給食を提供する必要があります。</p> <p>● 特別支援教育については、ノーマライゼーションの理念に基づく教育を推進するため、教育活動の一層の充実を図ります。そのために、各小学校に特別支援学級を設置するとともに、校内支援体制の整備や関係機関との連携体制を強化します。各学校では、個別の指導計画などを作成して、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な配慮や支援に努めた教育を進める必要があります。特に、教育的ニーズに応じた適切な配慮や支援が必要な児童生徒を支援するためには、特別支援教育の一層の推進を図る必要があります。居住区の学校で学ぶことができるよう平成28年度には全小学校に特別支援学級を設置すべく、教員の指導力の向上を図りながら整備を進めます。</p> <p>● 学校と家庭、地域、関係機関が一体となり、小・中学校における非行問題行動を根絶し、児童生徒が落ち着いて学び、個性を伸ばせる環境を築いていく必要があります。</p>
法制度の変更など	

3. 目標指標の達成状況 ★冊子掲載指標

No.	課名	指標名	指標の説明(計算式)	対象数	実績						目標値	達成率	主な取組内容やコメントなど
					年度	H22	H23	H24	H25	H26			
1	★ 教育センター	特別支援教育支援員配置校数	特別な支援が必要な児童生徒に対して配置している(累計)	—	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	—	(6へ移行)事業の変更に伴い、アップビスマイルサポーターとして実施。よって項目統合
					単位	校	10	20	—	—	33		
2	★ 指導課	上尾市学力目標値(小学校)	全国平均を50としたときの平均(単年)	小学校3~6年生	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	97%	
					単位	ポイント	52.2	52.4	51.8	51.9	51.8	53.2	
3	★ 指導課	上尾市学力目標値(中学校)	全国平均を50としたときの市の平均(単年)	中学校1~3年生	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	97%	
					単位	ポイント	51	50.7	50.3	50.3	50.5	52	
4	農政課	農業体験教室・上尾市政出前講座・啓発活動 テーマ(あげおの農産物)	講座等の開催回数(単年)	—	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	69%	四季ごとで農業体験教室4品目の植え付け+収穫の8回を基本とし、市政出前講座による座学の機会を増やしていく。
					単位	回	10	9	9	8	9	13	
5	保育課	幼稚園就園率	幼稚園在園児/(対象年齢幼児-保育所入所児)(単年)	—	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	100%	所得状況等に応じ、就園奨励費補助金、保護者負担軽減費補助金の支給を行うことで、幼稚園への就園を奨励している。
					単位	%	84.2	86.3	87.4	88.2	90.0	90	
6	学務課	アップビスマイルサポーター配置率	配置人数/申請数	—	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	76%	ニーズに合った支援を行っている。
					単位	%	21.3	23.7	25.5	24.1	19.1	25	
7	学校保健課	小学校給食地産地消(上尾産米の活用)	彩の国ふるさと学校給食月間に上尾産米「彩のかがやき」を活用する(単年)	年3回	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	100%	JAあだち野に年度当初に必要な量の確保を依頼している。
					単位	回	3	3	3	3	3	3	
8	中学校給食共同調理場	給食の停止回数	事故等による停止回数(単年)	年間回数184回(H25)	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	100%	停止回数が0が最も良い。平成22年度は、震災による停止があった。
					単位	回	5	0	0	0	0	0	
9					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
10					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								

4. 今後の方針(平成27年度実施予定を踏まえた28年度の方向性)

<p>今後の取組の方向性</p> <p>(文末に*のあるものは、市長マニフェスト該当項目)</p>	<p>(保育課) ・引き続き、学校訪問、保育要録の送付、接続期プログラムの活用、幼児教育振興協議会・研修会に参加し幼・保・小の連携を深めます。</p> <p>(農政課) ・上尾市農業後継者育成確保対策協議会(事務局:農政課)が主催する農業体験教室は、小学生と家族を対象に、種まきから肥地管理、収穫までの一連の農作業を自らが体験することで、その苦労や楽しさを学ぶ体験学習としての効果が高い事業となっています。 ・子供だけでなく親世代も対象としていることで、地域農業への理解にもつながっていきます。 ・農作業の体験に合わせ、農業が育んできた地域の文化や環境なども視野に入れていきます。 ・市政出前講座等の座学による地域農業や農産物を市民に広く理解してもらう啓発事業にも取り組んでいきます。</p> <p>(学務課) ・障害のある児童及び生徒が在籍する通常学級に対し、生徒指導の充実と健全な学級運営を図るため、学級担任等の教員の補助を行うアップビスマイルサポーターを教育的ニーズに応じ適正に配置します。 ・平成28年度には、市内小学校全校に特別支援学級を設置できるよう需要予測に基づき、計画的に平成27年度までの整備と教員養成を進めます。</p> <p>(指導課) ・「上尾市教育の情報化ビジョン」を策定し、各学校の普通教室のLAN環境整備をするとともに、各小学校では、タブレット型端末が導入されたことを踏まえ、教職員の指導力向上の研修会等を実施させます。 ・通常の学級における授業づくりや学校の体制づくりを行います。 ・各小学校に特別支援学級を設置するために、教員の育成研修会を実施します。 ・平成26年度に「上尾市接続期プログラム集」を作成し、平成27年度から、本格的に実施しています。 ・教職員のいじめを根絶く力の向上のためのCAP研修会を各学校で行います。 ・児童生徒の満足度調査をおとして、個に応じた生徒指導を行います。</p> <p>(学校保健課) ・小学校給食において、上尾産米を活用し、食育及び地産地消を推進します。 ・食の安全確保や魅力ある給食を提供するため、小学校給食室における老朽化した備品等の更新を計画的に進めます。 ・学校給食の衛生管理のため、教育委員会による給食室訪問や給食調理員を対象とした講習会を開催します。 ・児童の食心安全のため、給食食材の放射性物質の検査を実施し、情報提供します。</p> <p>(中学校給食共同調理場) ・平成5年1月の給食開始以来、当施設も21年を経過し、大型厨房機器の更新の時期を迎えています。給食の停止はあってはならないことなので、順次計画的に更新していく予定ですが、大規模な予算が必要となることから、リースを視野に入れ検討します。</p>	<p>★進ちよく状況</p>	<p>B 概ね順調</p>
---	--	----------------	---------------

5. 市民満足度アンケート(平成25年度実施)

期待度		満足度		かい離値	
指数	順位	指数	順位	指数	順位
2.38	4	1.37	11	1.01	22

※かい離値は、期待度ー満足度を表します。

★進ちよく状況
A 順調(すべての指標が改善または目標値達成)
B 概ね順調(改善または目標値達成した指標が半数以上)
C やや遅れ(改善または目標値達成した指標が半数未満)

※参考	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
この施策に係る当初予算の事業費(千円)	1,139,222	1,176,486	1,334,575	1,312,803
この施策に係る当初予算の人員費(千円)	643,418	616,070	616,060	536,531
合計(千円)	1,782,640	1,792,556	1,950,635	1,849,334

平成27年度 第5次上尾市総合計画 施策マネジメントシート

1. 基本情報 ●子ども・若者相談センター・青少年課・少年愛護センター

施策番号(大-中-小)	623
まちづくりの基本方向(大項目)	明日を担う人づくり
政策(中項目)	学校教育の充実と青少年の育成
施策(小項目)	青少年
基本方針	青少年を地域ぐるみで育成する体制づくりを目指して、青少年団体や育成団体の活動を盛り上げるとともに、青少年の自主活動を促進し、それらの拠点となる施設の充実や整備の検討を進めます。また、非行防止の活動や相談活動を展開します。

2. 施策の状況(平成27年3月31日現在の状況を記入)

施策の現況と課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 家庭・学校・地域が一体となって青少年の自主活動の充実に努めてきました。特に、青少年育成連合会を構成している地区会議や青少年育成推進員協議会などが行っている「あいさつ運動」や「読みきかせ」の活動、子ども会の活動は、青少年の健全育成に大きな成果を上げています。引き続き次代を担う青少年の健全育成のために、関係する青少年育成団体を支援し、組織の強化に努める必要があります。 ● 青少年の学校外活動、野外活動において年齢の異なる子どもたちとの交流の機会を増やしたり、ボランティア活動への参加を促進してきましたが、さらに青少年の自主活動を充実する必要があります。 ● 平成22年度から東西の児童館アッピーランド・こどもの城の管理運営に指定管理者制度を導入し、開館日の増加などのサービスの向上に努めてきました。今後も両館の運営については、更なるサービスの向上や親しみやすさを目指し、利用者に愛される児童館づくりに努めます。 ● 青少年団体や育成活動にかかわる団体のネットワークを強化するため、関係団体を支援し、指導者・助言者の養成、確保に努めてきましたが、さらに関係機関・学校・家庭・地域などが連携したネットワークづくりを進める必要があります。 ● 全国的に、青少年による凶悪事件の多発や犯罪の低年齢化、薬物乱用、出会い系サイトの悪用など青少年を巡る問題が深刻な状況にあります。補導委員による街頭補導活動を定期的に行い、少年非行の未然防止を図る必要があります。 ● 少年たちを取り巻く環境が大きく変化し、少年や保護者などの悩みも多様化しています。思春期の悩みや不安について、気軽に相談できる身近な相談機関として、引き続き多様化する現況に対応していく必要があります。 ● 家庭や地域における養育力が低下する中、社会全体で子ども・若者を見守り、育てる機能を果たしていく必要があります。
法制度の変更など	

3. 目標指標の達成状況 ★冊子掲載指標

No.	課名	指標名	指標の説明(計算式)	対象数	実績						目標値	達成率	主な取組内容やコメントなど
					年度	H22	H23	H24	H25	H26			
1★	青少年課	小型児童館の整備数	児童館整備数(累計)	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	0%		
				単位	館	0	0	0	0	0			2
2	青少年課	青少年と地域の協働事業参加者数	事業参加数(単年)	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	117%		
				単位	人	3,971	3,633	4,272	3,922	4,203			3,600
3	少年愛護センター	街頭補導人数	街頭補導人数(単年)	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	98%	※この指標は減少していく事で達成する。	
				単位	人	677	562	565	479	458			450
4	少年愛護センター	電話による相談受付数	電話相談受付数(単年)	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	132%		
				単位	件	302	454	656	627	727			550
5				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27			
				単位									
6				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27			
				単位									
7				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27			
				単位									
8				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27			
				単位									
9				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27			
				単位									
10				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27			
				単位									

4. 今後の方針(平成27年度実施予定を踏まえた28年度の方向性)

<p>今後の取組の方向性</p> <p>(文末に*のあるものは、市長マニフェスト該当項目)</p>	<p>(子ども・若者相談センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度にニート、引きこもりの若者に対して相談窓口を開設しました。引き続き、相談体制の充実に努めます。 (青少年課) ・東西児童館に対して子ども・子育て支援に関するアンケート調査結果をもとに、施設の適正な管理運営と更なる利用者へのサービス向上を目指します。 ・次代を担う青少年の健全育成を目指し、引き続き青少年団体の組織強化や活動の支援を図りながら、家庭・学校・地域などが連携したネットワークづくりを推進します。 (少年愛護センター) ・非行防止活動を引き続き推進します。また、思春期の悩みや不安について気軽に相談できる少年相談(電話相談・面接相談)の充実に努めます。 	★進ちよく状況	B 概ね順調
---	--	---------	--------

5. 市民満足度アンケート(平成25年度実施)

期待度		満足度		かい離値	
指数	順位	指数	順位	指数	順位
2.33	6	1.29	16	1.04	29

※かい離値は、期待度ー満足度を表します。

※参考

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
この施策に係る当初予算の事業費(千円)	135,933	139,764	135,769	133,731
この施策に係る当初予算の人件費(千円)	107,149	110,915	105,238	69,494
合計(千円)	243,082	250,679	241,007	203,225

★進ちよく状況

- A 順調(すべての指標が改善または目標値達成)
- B 概ね順調(改善または目標値達成した指標が半数以上)
- C やや遅れ(改善または目標値達成した指標が半数未満)